



相手を思いやる気持ちを形に

新型コロナウイルス感染症の患者やその家族、医療従事者、外国人などへの、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の防止を目的とする「シトラスリボンプロジェクト」に町は賛同します。

「シトラスリボン」を身に着けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示したりすることで、相手も思いやる気持ちを表し、優しさであふれる町、みんなが心から暮らしやすい町を今だからこそ目指すために、一人ひとりの思いが重要です。

「シトラスリボン」を身に着けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示したりすることで、相手も思いやる気持ちを表し、優しさであふれる町、みんなが心から暮らしやすい町を今だからこそ目指すために、一人ひとりの思いが重要です。

「シトラスリボン」を身に着けたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示したりすることで、相手も思いやる気持ちを表し、優しさであふれる町、みんなが心から暮らしやすい町を今だからこそ目指すために、一人ひとりの思いが重要です。

問い合わせ先
 役場町民保健課戸籍住民係
 ☎(86)1157



町内郵便局の窓口に置いてあります



みんなで広げよう シトラスリボンプロジェクト

「シトラスリボンプロジェクト」とは

「シトラスリボンプロジェクト」とは、コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛の有志「ちよびつと19+」が企画したプロジェクトです。

愛媛特産の柑橘にちなんで、シトラス色のリボンや専用ロゴを身に付けて、ただいま、おかえりの気持ちを表す活動を広めています。リボン

「シトラスリボンプロジェクト」とは、コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛の有志「ちよびつと19+」が企画したプロジェクトです。

愛媛特産の柑橘にちなんで、シトラス色のリボンや専用ロゴを身に付けて、ただいま、おかえりの気持ちを表す活動を広めています。リボン

「シトラスリボンプロジェクト」とは、コロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした愛媛の有志「ちよびつと19+」が企画したプロジェクトです。

愛媛特産の柑橘にちなんで、シトラス色のリボンや専用ロゴを身に付けて、ただいま、おかえりの気持ちを表す活動を広めています。リボン

リボンの編み方

シトラスリボンは、水引などのひもを使い編み上げられています。

裏は「十」となります。合わせると「叶」という漢字になり、住みよい町や社会になることが叶うという願いも込められています。製作にはひもだけあればいいので、費用もほとんど掛かりません。

ぜひ、作ってみてはどうでしょうか。

リボンの作り方は、シトラスリボンプロジェクトのホームページ内のYouTubeから見れます。「シトラスリボン 結び方」で検索すると、さまざまな結び方や分かりやすい説明があります。

